

# 農業市場学研究室案内 2014年前期

2014/04/24

## 1 教員の講義担当

	氏名	講義名	対象学年
教授	野見山敏雄	生産学原論(分担) 農業市場学(分担) 現代農業経営学(分担)	1年(前期) 3年(前期) 3年(後期)
助教	成田 拓未	農業経営学(分担) 農村社会学(分担) 食料と農業(分担) 食料と農業(分担) 食料と農業(分担)	修士1年(前期) 3年(前期) 3年(後期) 2年(後期) 修士1年(前期)

## 2 教員および院生・学生の研究テーマ

教授	野見山敏雄	1,産地の市場対応と産地形成 2,産直流通の展開課題
助教	成田 拓未	1,東アジア市場と日本の果樹農業 2,中国における農民専業合作社
博士特別 研究生	土屋 成慶	農協における青果物販売事業政策に関する研究
修士課程	北森 愛子 趙 哲 吉村 圭太 石川 諒 榎原 衣久枝 ブイ・ハ・オ・ロン 安井 拓哉 ユ・ヒョジュン	国内産小麦の需給動向に関する研究 農産物直売所における安全・安心の確保に関する研究 生ごみ焼却量削減のための提言 地域連携による大豆作の生産振興に関する研究 農業法人への新規就農の現状と今後の可能性について 日本の農産物輸出に関する研究—対ベトナムを中心に— フードビジネスにおけるロジスティクスに関する研究 農業分野における付加価値に関する研究
研究生	黒澤麻利江	農産物を介した生産者と消費者の交流に関する研究
4年生	飯村 一碩 永守みちる 藤本 隆聖	飼料としてのホエーの利用 バイオマスエネルギー利用に関する研究 農産物の物流に関する研究

## 3 学部卒業生および大学院修了生の進路 (末尾の数字は卒業・修了年度)

学部卒業生	大学院修士課程修了生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学大学院農学研究科-13×2, 12×2, 09</li> <li>・日本貿易振興機構 (JETRO) -12</li> <li>・農林水産省 -09</li> <li>・赤城乳業 (株) -09</li> <li>・(株)三幸食品-09</li> <li>・中国留学 (中国人民大学)-08</li> <li>・(株)味の素-08</li> <li>・(株)モンテローザ-08</li> <li>・厚生労働省-07</li> <li>・(株)いなげや-07</li> <li>・(社)家の光協会-07</li> <li>・茨城県庁-06</li> <li>・上越教育大学大学院-05</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)コスモネット-13</li> <li>・(株)グレイス-12</li> <li>・月島食品工業 (株) -11</li> <li>・韓国・農村振興庁-10</li> <li>・(株)ディー・エル・イー-10</li> <li>・本学大学院連合農学研究科-09, 03, 98, 97</li> <li>・(社)全国農業共済協会-07</li> <li>・新日鉄ソリューション-06</li> <li>・JA全農-05</li> <li>・(株)上昇-05</li> <li>・(株)花弘-04</li> <li>・北海道庁-03</li> <li>・鳥取県庁-03</li> </ul>

## 4 最近の卒論及び修論のテーマ (・=卒論, ◇=修論)

- ・地域連携による大豆作の生産振興に関する研究-13
- ・非農家出身者の新規就農における農業の役割について-13
- ・国内産小麦の需給動向に関する研究—需要拡大の課題—12
- ・日本産農林水産物・食品の輸出に関する研究—根室産サマのベトナム向け輸出を事例として—12
- ・エコフィードの現状と課題—飼料化事業から考察した今後の食品リサイクルの展望—12
- ・食品企業における食育のあり方に関する研究-09
- ・生協産直の現段階と果たすべき役割-09
- ・都市農業・農地存続のための自治体の役割—農のあるまちづくりを事例に—09
- ・リスク伝達手段としての農産物認証制度の意義と課題に関する研究-08
- ・農産物の地域ブランド化の現状と課題に関する研究-08
- ・絹織物における手仕事の意味-07
- ・食品の安全・安心問題と食品安全行政の対策に関する—考察—食品衛生法を中心に—07
- ・日本における農産物輸出の現状と課題-07
- ◇生協産直の物流に関する研究-13
- ◇日本ワインの対中国輸出に関する研究-13
- ◇牛肉流通における安全安心に関する研究-13
- ◇日本産りんごの対東アジア輸出に関する研究—台湾・中国を中心に—13
- ◇生活型農産物直売所の意義と今後の可能性に関する研究—12
- ◇日本における有機農産物流通の一形態としてのオーガニック・ファーマーズ・マーケットの現状と課題—12
- ◇生協産直における農産物の価格形成と需給調整に関する研究—共同購入事業を中心として—11
- ◇日本の食品産業におけるハラル展開の可能性と課題に関する研究-11
- ◇学校給食における地産地消の可能性と限界に関する研究—都市地域を中心に—10
- ◇外国人観光客の誘致による地域活性化に関する研究-10
- ◇食品加工企業におけるトマト原料の契約取引に関する研究-09